



2020年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月19日

上場会社名 株式会社くろがね工作所 上場取引所 東
 コード番号 7997 URL <https://www.kurogane-kks.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)神足 尚孝
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)森 吉武 (TEL)06-6538-1010
 定時株主総会開催予定日 2021年2月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年2月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期の連結業績 (2019年12月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|-----------|--------------------------|-------|--------------------------|---|------|---|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年11月期 | 8,217 | △14.0 | △243 | — | △252 | — | △508 | — |
| 2019年11月期 | 9,550 | △13.5 | △225 | — | △238 | — | △284 | — |
| (注) 包括利益 | 2020年11月期 △433 百万円 (—%) | | 2019年11月期 △346 百万円 (—%) | | | | | |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|--------------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2020年11月期 | △298.44 | — | △14.1 | △2.6 | △3.0 |
| 2019年11月期 | △167.19 | — | △7.1 | △2.3 | △2.4 |
| (参考) 持分法投資損益 | 2020年11月期 7百万円 | | 2019年11月期 9百万円 | | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|---------------------|-------|---------------------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年11月期 | 9,617 | 3,405 | 35.3 | 1,994.22 |
| 2019年11月期 | 10,188 | 3,839 | 37.6 | 2,248.27 |
| (参考) 自己資本 | 2020年11月期 3,397 百万円 | | 2019年11月期 3,830 百万円 | |

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2020年11月期 | △604 | △59 | 136 | 624 |
| 2019年11月期 | 544 | △116 | △48 | 1,151 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2019年11月期 | — | — | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2020年11月期 | — | — | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2021年11月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 | | — | |

3. 2021年11月期の連結業績予想 (2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 4,520 | 9.2 | 65 | — | 55 | — | 25 | — | 14.67 |
| 通期 | 8,840 | 7.6 | 110 | — | 80 | — | 35 | — | 20.54 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年11月期 | 1,857,113 株 | 2019年11月期 | 1,857,113 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年11月期 | 153,624 株 | 2019年11月期 | 153,495 株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2020年11月期 | 1,703,584 株 | 2019年11月期 | 1,703,618 株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年11月期の個別業績（2019年12月1日～2020年11月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|-----------|-------|-------|------|---|------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年11月期 | 8,170 | △14.2 | △236 | — | △250 | — | △500 | — |
| 2019年11月期 | 9,526 | △13.7 | △246 | — | △261 | — | △303 | — |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|-----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年11月期 | △294.02 | — |
| 2019年11月期 | △177.92 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-----------|-------|---|-------|---|--------|---|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 2020年11月期 | 9,185 | — | 3,048 | — | 33.2 | — | 1,789.64 | |
| 2019年11月期 | 9,727 | — | 3,473 | — | 35.7 | — | 2,038.82 | |

(参考) 自己資本 2020年11月期 3,048百万円 2019年11月期 3,473百万円

2. 2021年11月期の個別業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|-----------|-------|-----|------|---|-------|---|------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 第2四半期(累計) | 4,500 | 9.2 | 50 | — | 25 | — | 14.67 | |
| 通 期 | 8,800 | 7.7 | 70 | — | 30 | — | 17.61 | |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 16 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、当初は雇用・所得環境は改善傾向にあったものの、年明け以降の新型コロナウイルス感染症の拡大が経済全体に影響を与え大きく停滞することとなりました。このことはわが国のみならず世界中の経済停滞を引き起こし、閉塞感に満ちた年度となりました。

このような経済状況下、当社グループとしては、オフィスのICT化によるオフィス環境整備需要への対応を推し進めるとともに、飛沫感染防止対策スクリーンの発売や、「ポストコロナ時代」をテーマとしたWEBセミナーを開催するなど、新型コロナウイルス感染防止を見据えたワークプレイスの在り方の提案等を積極的に推進しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴う金融機関や大手企業の大口移転案件の延期や中止、医療福祉関連施設の着工・完工案件の減少が影響し、売上高は前連結会計年度を大幅に下回りました。また損益面におきましても、減収による粗利額の減少の他、建築付帯設備機器事業における工場稼働率の低下等が影響し、厳しい状況となりました。

当社として、営業拠点の再配置に伴う本社および東京営業所の賃借スペースの一部返還や組織・人員体制の見直しならびに業務の効率化による人件費の削減等による固定費の削減を図るなど構造改善を進めましたが、その効果は翌連結会計年度以降に大きく寄与することから減収による粗利額の減少を補うには至りませんでした。

その結果、当連結会計年度の売上高は82億17百万円（前連結会計年度比14.0%減）となりました。

損益面につきましては、営業損失は2億43百万円（前連結会計年度は営業損失2億25百万円）、経常損失は2億52百万円（前連結会計年度は経常損失2億38百万円）となりました。また、特別損失として本社および東京営業所の賃借スペースの一部返還に伴う固定資産除却損及び事務所移転費用ならびに投資有価証券評価損が発生したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は5億8百万円（前連結会計年度は親会社に帰属する当期純損失2億84百万円）となりました。

事業部門別の状況は次のとおりであります。

【家具関連事業】

（事務用家具部門）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、当連結会計年度に予定されていた大口案件の延期、縮小、中止等の影響を受けた一方、コロナ禍における新たな需要の発掘、取込みに注力し、特に飛沫感染防止の観点から飛沫感染防止対策スクリーンの設置の動きが広がる中のニーズに応えた新製品を開発、積極的なセールスを展開し、大口案件の取込みにも成功しましたが、前述のとおり予定されていた案件の延期、縮小、中止等の影響をカバーするまでには至らず、売上高は前連結会計年度を下回る結果となりました。

（家庭用家具部門）

就学児童数の減少やライフスタイルの変化により総需要が減少する厳しい市況が続くなか、コロナ禍における在宅勤務、オンライン学習などの需要取込みに向け、デザイン性、機能性を一新した新商品の発売や、大型量販店向けオリジナル商品の投入などにより受注拡大に注力しましたが、売上高は前連結会計年度を下回りました。

その結果、家具関連事業の連結売上高は56億49百万円（前連結会計年度比12.9%減）となりました。

【建築付帯設備機器事業】

（建築付帯設備他部門）

医療福祉施設マーケットにおきましては、当連結会計年度以降の病院の改築、統合案件の増加が見込まれておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で着工案件の中止、延期及び完工案件の遅れが影響して、当社の主力商品である懸垂式引戸「アキュドユニット」、病院向けの医療ガスアウトレット／情報端末内蔵式設備「メディウオード・ユニット」ともに販売量が減少し、売上高は前連結会計年度を下回りました。

（クリーン機器他設備機器部門）

病院等医療関連施設向けクリーン機器においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により受注案件の完工延期の影響を受けました。また、工場向けエア空調機、各種特殊エアハン等の新規受注促進活動を強化しましたが、売上高は前連結会計年度を下回りました。

その結果、建築付帯設備機器事業の連結売上高は25億68百万円（前連結会計年度比16.2%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産の残高は、96億17百万円（前連結会計年度末101億88百万円）となり、前連結会計年度末と比較して5億71百万円の減少となりました。

流動資産の残高は、当連結会計年度末41億55百万円（前連結会計年度末44億34百万円）となりました。受取手形及び売掛金が1億43百万円、仕掛品が1億52百万円増加等、現金及び預金が5億27百万円減少等により、前連

結会計年度末に比べ2億78百万円の減少となりました。

固定資産の残高は、当連結会計年度末54億61百万円（前連結会計年度末57億53百万円）となりました。建物及び構築物（純額）が63百万円、機械装置及び運搬具（純額）が38百万円、リース資産（純額）が63百万円、投資有価証券が76百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ2億92百万円の減少となりました。

負債の残高は、当連結会計年度末62億11百万円（前連結会計年度末63億49百万円）となりました。長短借入金が1億96百万円の増加等、支払手形及び買掛金が2億83百万円、未払消費税等が61百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ1億37百万円の減少となりました。

純資産は、当連結会計年度末34億5百万円（前連結会計年度末38億39百万円）となりました。利益剰余金が5億8百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ4億33百万円の減少となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億27百万円の減少となり、当連結会計年度末は6億24百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費2億33百万円、投資有価証券評価損1億89百万円等の資金増加要因がありましたが、税金等調整前当期純損失4億82百万円、たな卸資産の増加1億29百万円、仕入債務の減少2億80百万円等の資金減少要因があり、差引6億4百万円の資金減少（前連結会計年度5億44百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出54百万円等の資金減少要因があり、差引59百万円の資金減少（前連結会計年度1億16百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の借入による増加（純額）5億56百万円等による資金増加要因と、長期借入金の返済による減少（純額）3億59百万円等による資金減少要因の結果、1億36百万円の資金増加（前連結会計年度48百万円の減少）となりました。

(4) 今後の見通し

| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円) | 1株当たり当期 純利益 (円) |
|-----------|--------------|---------------|---------------|------------------------------|--------------------|
| 2021年11月期 | 8,840 | 110 | 80 | 35 | 20.54 |
| 2020年11月期 | 8,217 | △243 | △252 | △508 | △298.44 |
| 増減率 (%) | 7.6 | — | — | — | — |

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染の収束が見通せない中、「ウィズコロナ・ポストコロナ」を見据えたニューノーマルに向けた環境整備が加速的に進むものと見込まれます。当社としては、「ウィズコロナ・ポストコロナ」を見据えた新たなワークプレイスのあり方が強く望まれており、この社会的ニーズに応えるため当社が積極的に推進している「IAQ（インテリア・エア・クオリティ）」の改善を絡めた積極的な商品開発・提案営業を行い拡販に努めて参ります。

その例として、発売を開始したHEPAフィルター付きパーティションが好評を得て順調に販売を伸ばしています。加えて、空間の微生物、病原体、カビ、微粒子、ウイルス、VOC等を除去し、快適で健康的なオフィス環境の実現を促進する「アトモスエア」の販売増加も見込まれています。また生産部門においては、更なる原価低減に向け生産性の改善に注力するとともに、前期に実施した営業拠点の再編成、人員の適正化に伴う大幅な固定費の削減も寄与するものと見込まれます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年11月30日) | 当連結会計年度 (2020年11月30日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,156,951 | 629,903 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,241,770 | 1,385,036 |
| 商品及び製品 | 1,259,915 | 1,239,560 |
| 仕掛品 | 524,696 | 677,404 |
| 原材料及び貯蔵品 | 159,015 | 155,747 |
| 前払費用 | 58,236 | 40,725 |
| その他 | 33,709 | 27,659 |
| 貸倒引当金 | △204 | △210 |
| 流動資産合計 | 4,434,090 | 4,155,827 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,342,432 | 1,278,997 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 226,549 | 187,978 |
| 土地 | 2,375,281 | 2,375,281 |
| リース資産（純額） | 179,777 | 116,377 |
| その他（純額） | 72,381 | 68,976 |
| 有形固定資産合計 | 4,196,422 | 4,027,610 |
| 無形固定資産 | 38,012 | 29,418 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,179,882 | 1,103,083 |
| 長期前払費用 | 10,022 | 5,994 |
| 繰延税金資産 | 36,774 | 22,899 |
| その他 | 295,289 | 274,674 |
| 貸倒引当金 | △2,433 | △2,463 |
| 投資その他の資産合計 | 1,519,534 | 1,404,188 |
| 固定資産合計 | 5,753,969 | 5,461,217 |
| 資産合計 | 10,188,059 | 9,617,045 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年11月30日) | 当連結会計年度 (2020年11月30日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,569,797 | 1,286,028 |
| 短期借入金 | 1,522,900 | 2,079,300 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 798,212 | 638,581 |
| 未払費用 | 144,803 | 129,571 |
| 未払法人税等 | 28,287 | 26,110 |
| 未払消費税等 | 70,767 | 9,766 |
| 受注損失引当金 | 9,120 | - |
| その他 | 233,962 | 280,544 |
| 流動負債合計 | 4,377,849 | 4,449,901 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 912,346 | 712,260 |
| リース債務 | 137,429 | 90,166 |
| 繰延税金負債 | 41 | - |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 352,883 | 352,883 |
| 製品自主回収関連損失引当金 | 38,300 | 1,639 |
| 退職給付に係る負債 | 524,604 | 588,835 |
| その他 | 5,554 | 16,307 |
| 固定負債合計 | 1,971,159 | 1,762,091 |
| 負債合計 | 6,349,008 | 6,211,993 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,998,456 | 2,998,456 |
| 利益剰余金 | 273,788 | △234,633 |
| 自己株式 | △157,882 | △157,971 |
| 株主資本合計 | 3,114,362 | 2,605,851 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △58,367 | 18,351 |
| 繰延ヘッジ損益 | 708 | △556 |
| 土地再評価差額金 | 773,483 | 773,483 |
| その他の包括利益累計額合計 | 715,825 | 791,279 |
| 非支配株主持分 | 8,863 | 7,921 |
| 純資産合計 | 3,839,050 | 3,405,051 |
| 負債純資産合計 | 10,188,059 | 9,617,045 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日) |
|----------------|--|--|
| 売上高 | 9,550,678 | 8,217,980 |
| 売上原価 | 7,722,053 | 6,499,488 |
| 売上総利益 | 1,828,625 | 1,718,492 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売手数料 | 22,340 | 12,019 |
| 荷造及び発送費 | 310,975 | 278,444 |
| 広告宣伝費 | 46,438 | 35,805 |
| 役員報酬 | 71,283 | 65,295 |
| 給料及び手当 | 728,796 | 727,724 |
| 退職給付費用 | 55,553 | 57,453 |
| 法定福利及び厚生費 | 138,762 | 145,350 |
| 旅費及び交通費 | 114,264 | 85,211 |
| 事務用品費及び通信費 | 58,351 | 62,874 |
| 倉庫料 | 41,702 | 46,299 |
| 租税公課 | 49,774 | 49,085 |
| 減価償却費 | 76,236 | 61,872 |
| 賃借料 | 116,358 | 128,321 |
| 貸倒引当金繰入額及び貸倒損失 | △21 | 36 |
| その他 | 223,556 | 205,988 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,054,374 | 1,961,783 |
| 営業損失(△) | △225,749 | △243,290 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 19 | 5 |
| 受取配当金 | 25,122 | 22,027 |
| 持分法による投資利益 | 9,618 | 7,033 |
| 仕入割引 | 8,920 | 7,243 |
| 経営指導料収入 | 16,400 | 20,181 |
| 雑収入 | 11,026 | 17,913 |
| 営業外収益合計 | 71,108 | 74,406 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 38,069 | 40,771 |
| 手形売却損 | 10,429 | 10,175 |
| 支払手数料 | 27,545 | 27,667 |
| 雑支出 | 7,953 | 5,312 |
| 営業外費用合計 | 83,998 | 83,926 |
| 経常損失(△) | △238,639 | △252,810 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日) |
|---|--|--|
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 26,998 | - |
| 製品自主回収関連損失引当金戻入額 | - | 23,237 |
| 特別利益合計 | 26,998 | 23,237 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,625 | 23,971 |
| 投資有価証券評価損 | - | 189,429 |
| 積立保険解約損 | 2,045 | 12,726 |
| 製品自主回収関連損失 | 38,300 | - |
| 事務所移転費用 | - | 26,642 |
| 特別損失合計 | 42,970 | 252,769 |
| 税金等調整前当期純損失(△) | △254,611 | △482,343 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 21,378 | 20,227 |
| 法人税等調整額 | 7,263 | 6,392 |
| 法人税等合計 | 28,642 | 26,620 |
| 当期純損失(△) | △283,254 | △508,963 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△) | 1,567 | △541 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | △284,821 | △508,421 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 当期純損失(△) | △283,254 | △508,963 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △62,913 | 76,777 |
| 繰延ヘッジ損益 | 327 | △1,264 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △284 | △58 |
| その他の包括利益合計 | △62,870 | 75,454 |
| 包括利益 | △346,124 | △433,509 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △347,691 | △432,967 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 1,567 | △541 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | |
|---------------------|-----------|----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,998,456 | 575,646 | △157,882 | 3,416,220 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | △17,036 | | △17,036 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | △284,821 | | △284,821 |
| 自己株式の取得 | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | - |
| 当期変動額合計 | - | △301,857 | - | △301,857 |
| 当期末残高 | 2,998,456 | 273,788 | △157,882 | 3,114,362 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|----------------------|---------|----------|-----------------------|---------|-----------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 4,830 | 381 | 773,483 | 778,695 | 7,695 | 4,202,611 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | - | | △17,036 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | - | | △284,821 |
| 自己株式の取得 | | | | - | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △63,198 | 327 | | △62,870 | 1,167 | △61,703 |
| 当期変動額合計 | △63,198 | 327 | - | △62,870 | 1,167 | △363,560 |
| 当期末残高 | △58,367 | 708 | 773,483 | 715,825 | 8,863 | 3,839,050 |

当連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | |
|---------------------|-----------|----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,998,456 | 273,788 | △157,882 | 3,114,362 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | - |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | △508,421 | | △508,421 |
| 自己株式の取得 | | | △89 | △89 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | - |
| 当期変動額合計 | - | △508,421 | △89 | △508,511 |
| 当期末残高 | 2,998,456 | △234,633 | △157,971 | 2,605,851 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|----------------------|---------|----------|-----------------------|---------|-----------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △58,367 | 708 | 773,483 | 715,825 | 8,863 | 3,839,050 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | - | | - |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | - | | △508,421 |
| 自己株式の取得 | | | | - | | △89 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 76,718 | △1,264 | | 75,454 | △941 | 74,512 |
| 当期変動額合計 | 76,718 | △1,264 | - | 75,454 | △941 | △433,999 |
| 当期末残高 | 18,351 | △556 | 773,483 | 791,279 | 7,921 | 3,405,051 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日) |
|---------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純損失 (△) | △254,611 | △482,343 |
| 減価償却費 | 262,649 | 233,221 |
| 固定資産除却損 | 2,625 | 23,971 |
| 積立保険解約損 | 2,045 | 12,726 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △26,998 | - |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | - | 189,429 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △151 | 36 |
| 過年度決算訂正関連費用引当金の増減額 (△は減少) | △65,000 | - |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 43,298 | 64,230 |
| 受注工事損失引当金の増減額 (△は減少) | 9,120 | △9,120 |
| 製品自主回収関連損失引当金の増減額 (△は減少) | 38,300 | △36,660 |
| 受取利息及び受取配当金 | △25,141 | △22,033 |
| 支払利息 | 38,069 | 40,771 |
| 為替差損益 (△は益) | 397 | 1 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △9,618 | △7,033 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 97,991 | △84,617 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 680,056 | △129,131 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △286,744 | △280,073 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 32,340 | △61,001 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | 5,585 | 21,977 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 29,149 | △49,160 |
| その他 | 2,042 | 10,170 |
| 小計 | 575,405 | △564,637 |
| 利息及び配当金の受取額 | 25,141 | 22,007 |
| 利息の支払額 | △36,940 | △41,933 |
| 法人税等の支払額 | △18,782 | △19,520 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 544,823 | △604,084 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日) |
|-----------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △5,000 | △5,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 15,000 | 5,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △97,714 | △54,901 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △7,023 | △5,030 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △86,038 | △18,577 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 84,592 | - |
| 貸付けによる支出 | △19,476 | △6,885 |
| 貸付金の回収による収入 | 7,691 | 9,138 |
| 投資その他の資産の増減額 (△は増加) | △8,959 | 16,668 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △116,928 | △59,587 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 8,150,000 | 5,350,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △7,873,600 | △4,793,600 |
| 長期借入れによる収入 | 680,000 | 490,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △901,470 | △849,717 |
| 自己株式の取得による支出 | - | △89 |
| 配当金の支払額 | △16,973 | △1,050 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △400 | △400 |
| その他の支出 | △86,527 | △58,517 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △48,970 | 136,625 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △397 | △1 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 378,527 | △527,047 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 773,423 | 1,151,951 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,151,951 | 624,903 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の製造販売体制のもと、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は製造販売体制を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「家具関連」及び「建築付帯設備機器」の2つを報告セグメントとしております。

「家具関連」は、オフィス家具、学習関連家具等の製造販売を行っております。「建築付帯設備機器」は、建築付帯設備、クリーン機器他設備機器等の製造販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益と同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|------------------------|
| | 家具関連 | 建築付帯 設備機器 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,486,347 | 3,064,330 | 9,550,678 | — | 9,550,678 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 6,486,347 | 3,064,330 | 9,550,678 | — | 9,550,678 |
| セグメント利益又は損失(△) | 154,933 | △69,692 | 85,241 | △310,990 | △225,749 |
| セグメント資産 | 6,251,713 | 2,548,744 | 8,800,458 | 1,387,601 | 10,188,059 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 168,268 | 89,151 | 257,419 | 5,230 | 262,649 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 134,757 | 32,092 | 166,850 | — | 166,850 |

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△310,990千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額1,387,601千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に親会社での余資運用資金(現金及び預金)及び長期投資資金(投資有価証券等)等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|------------------------|
| | 家具関連 | 建築付帯 設備機器 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,649,284 | 2,568,695 | 8,217,980 | — | 8,217,980 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,649,284 | 2,568,695 | 8,217,980 | — | 8,217,980 |
| セグメント利益又は損失(△) | 67,686 | △21,373 | 46,313 | △289,603 | △243,290 |
| セグメント資産 | 6,654,207 | 2,152,737 | 8,806,945 | 810,100 | 9,617,045 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 139,828 | 87,303 | 227,131 | 6,089 | 233,221 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 57,263 | 12,381 | 69,644 | — | 69,644 |

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△289,603千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額810,100千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に親会社での余資運用資金(現金及び預金)及び長期投資資金(投資有価証券等)等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|--------------|-----------|------------|
| 日本アキュライド株式会社 | 1,523,777 | 家具関連 |

当連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|--------------|-----------|------------|
| 日本アキュライド株式会社 | 1,230,732 | 家具関連 |

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| 前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日) | | 当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日) | |
|--|-----------|--|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 2,248円27銭 | 1株当たり純資産額 | 1,994円22銭 |
| 1株当たり当期純損失金額(△) | △167円19銭 | 1株当たり当期純損失金額(△) | △298円44銭 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。

2 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

| 項目 | 前連結会計年度 (2019年11月30日) | 当連結会計年度 (2020年11月30日) |
|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 純資産の部の合計額 (千円) | 3,839,050 | 3,405,051 |
| 純資産の部の合計額から 控除する金額(非支配株主持分) (千円) | 8,863 | 7,921 |
| 普通株式に係る期末の純資産額 (千円) | 3,830,187 | 3,397,130 |
| 1株当たり純資産額の算定に 用いられた普通株式の数 (株) | 1,703,618 | 1,703,489 |

2 1株当たり当期純損失金額(△)

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日) |
|------------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (千円) | △284,821 | △508,421 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属す る当期純損失(△) (千円) | △284,821 | △508,421 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 1,703,618 | 1,703,584 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。